

手をつなぎ、未来につなぐ。市民と野党のつどい

2・16 @中津川 報道



参院選に向け 野党結集集会 中津川

夏の参院選に向けて野党勢力を結集しようと、市民団体と野党4党(立憲民主、国民民主、共産、社民)の県組織でつくる「ピースハートぎふ(河合良房代表)」が16日、「市民と野党のつどい」を中津川市で開いた。市民約2000人が参加した。既に立候補を表明している立民の梅村慎一氏、共産の高木光弘氏と国民、社民の県連代表者が登壇。「野党統一候補以外に1人区で勝つ道はない」「消費税率引き上げや原発への反対など共通政策を積み上げ、市民と野党の力を合わせた」と訴えた。

ピースハートぎふは21日に大垣市、24日に高山市でも集会を開く。参院選岐阜選挙区にはほかに、自民現職の大野泰正氏も立候補の意向を示している。(森川洋)

2018.2.17 朝日新聞



参院選へ4野党一丸

ピースハートぎふ 中津川で集い

野党4党(立憲民主、たい「共通の政策を国民民主、共産、社会積み上げていきたい」民主)の県組織と市民などと意気込みを述べ、団体でつくる「ピースハートぎふ」(河合良房代表)は、中津川市党の出席者らが手を組んで中津川にぎわいみ、参加者200人とプラザで「市民と野党のつどい」を開き、今夏の参院選に向けて市民と野党の結束を誓った。

最後に河合代表と4野党の出席者らが手を組んで中津川にぎわいみ、参加者200人とプラザで「市民と野党のつどい」を開き、今夏の参院選に向けて市民と野党の結束を誓った。

参院選岐阜選挙区(改選数1)の勝利に向け、市民と野党が「丸」となっており、今夏の参院選に向けて市民と野党の結束を誓った。

「市民と野党のつどい」は21日に大垣市、24日に高山市でも開く。参院選岐阜選挙区では、自民現職の大野泰正氏が再選を目指し立候補を予定している。(三輪真大)

河合代表は「野党の統一候補を早く決めてほしい」と訴え、気持ちは「候補一本化を促し、市民と野党の真の共闘を目指したい」とあいさつ。4党の出席者はそれぞれ「野党がまとまれば必ず勝てる。安倍政権での改憲を必ず止める」「政策の垣根を越え、参院選の勝利に向けて頑張る」と訴え、参院選の勝利に向けて頑張る。

2018.2.18 岐阜新聞



野党候補早期一本化を

参院選 市民団体がつどい

夏の参院選で野党候補の一本化を目指す市民団体「ピースハートぎふ」が十六日、中津川市栄町のにぎわいプラザで「市民と野党のつどい」を開き、約二百人が統一候補の早期決定に向けて氣勢を上げた。

団体は二〇一六年の参院選前に発足し、現在は立憲民主、国民民主、共産、社民の県組織が参加。次期参院選の岐阜選挙区は野党から立民県連合副代表の梅村慎一さん(四)、共産県委員 会書記長の高木光弘さん(五)が出馬を表明している。

集会では、ピースハートぎふの河合良房代表が「時間的な余裕はなく、早い一本化が必要。これまでの選挙の反省を踏まえ、市民と野党の共闘を進めたい」と呼び掛けた。

2019.2.18 中日新聞